



夜の星空に
癒されます

INTERVIEW – 村の暮らし –

人物紹介

上野 恵里 ERI UENO
保健福祉課 保健師 入庁 8年目

大学卒業後、就職活動を経て保健師として西粟倉に移住してきました。都会暮らしよりは田舎暮らしの方が興味があつて、西粟倉に初めてきた時にしつこりだったので移住を決めました。

日々の業務は保健師として、子ども関係の事業に対して全体的に業務を受け持っています。他の大きな市町村では、部分的に切り分けた業務が多いと聞きますが、私の場合は異動もなく、専門性を活かして集中して業務に取り組めることがやりがいにつながっています。

休日の過ごし方

村内での生活では、自然が身近な生活をおくことができるが何より魅力的です。春は沢山の木花が芽吹き、夏は川沿いに螢が飛んでいる風景を眺められることも心を癒してくれます。森にはヒメボタルという、小さな光の点滅を繰り返す種類の螢もいて、森中に広がる螢の光を初めてみた時は感動しました。また、夜の星空を見上げながら歩くことも好きな時間です。仕事帰りや、ふとした瞬間に空を見上げるといつも綺麗な風景があることは、田舎ならではの魅力を感じます。

図書館でゆっくり過ごす時間もおすすめで、特に私のお気に入りの場所は奥の空間にある窓際のソファ席です。西粟倉の図書館は雑誌の種類も豊富で、専門書などもすぐに取り寄せることができます。

村外には、神戸に出かけることもあります。関西圏へのアクセスも良く、ショッピングや都市部の友人に会いに行くのも、たまに現実から羽を伸ばすのにはちょうど良い距離を感じます。より手軽にお出かけするのは鳥取市がおすすめです。



ケーキ屋さんの
とりこです



INTERVIEW – 村の暮らし –

人物紹介

井口 拓朗 TAKURO IGUCHI
総務企画課 入庁 3年目

数年前、将来計画の見直しをしていた際に、前職の教育関係の仕事から再就職を考えたことがきっかけで西粟倉村の役場に応募しました。

職場では、主に村内のネットワーク関係の職務をなっています。DXや、光ファイバー、防災など多岐に渡って担当しています。中でも村公式ラインの構築では、自ら役場の中で提案した内容を実現することができたことには喜びを感じています。

休日の過ごし方

最近、村内に美味しいケーキ屋さんができたのが嬉しくてよく通っています。Uターンで開店したパティシエさんのケーキは、やっぱりコンビニスイーツでは味わえない高いレベルの美味しさと、カウンターで窓の外の風景を眺めながら食べられるひとときも、村暮らしならではの満足感が高まるサービスです。

また、とにかく温泉が大好きで、村内には二件の温泉施設があり、こちらも頻繁に利用させてもらっています。冷泉ながら温泉成分が高く、村を代表する産業の一つ、バイオマスエネルギーを活用して温められたお湯に浸かると、体の芯までポカポカしてきて、1日の疲れを癒してくれます。他にも、温泉といえば鳥取県へのアクセスも良いので、ドライブがてら海側の温泉地帯である岩美方面や、鳥取市内の温泉にも足を伸ばしています。元々、岡山市内から移住してきたため、移住当初は知り合いの多い岡山市に出ることが多かつたのが、私の地元の姫路にもアクセスしやすいことも魅力に感じています。

